**ハンドマイク街頭演説原稿例　　　コロナ・派遣法改正・敵基地攻撃**

二〇二二年一月二十七日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、先日から国会では予算委員会がはじまりました。オミクロン株による感染拡大がかつてないスピードと規模で拡大するなか、いかにコロナ収束を図るかが大きな焦点です。しかし、岸田首相は、第五波の収束後も、ワクチン３回目接種や検査の抜本的拡充を怠り、第６波が起きてから従来の対策を繰り返すだけで後手後手の対応に終始しています。第６波が予見されるなかで対策を怠った岸田首相と自公政権の責任は重大です。今必要なことは、発熱外来がひっ迫するなか、昨年まで実施していた診療・検査体制の補助金を復活させ、医療機関に十分な財政支援をすることです。また、政府は医療現場などで深刻化する抗原検査キットの不足を一刻も早く解消すべく、あらゆる努力をすべきです。コロナ収束にむけ、日本共産党は引き続き全力を挙げます。

　みなさん、岸田首相は「新しい資本主義」を強調し、これまでの市場任せの「新自由主義」を是正するとしています。しかし、予算委員会の質疑でも、格差と貧困を広げた自民党政権の政策について何の反省もなく、バブル崩壊以降の経済の低迷とデフレの結果との認識しか示しませんでした。日本共産党は、貧困と格差を広げた大本に、連続した労働者派遣法の改悪と有料職業紹介の原則自由化があったと考えます。新自由主義の是正というならば、労働者派遣法を改正し、「派遣労働は一時的・臨時的なものに限定、一年たったら正規雇用へ」と転換すべきです。日本共産党は、誰もが安定した仕事につき、収入が増える社会をつくるためにがんばります。ご支援を、よろしくお願いいたします。

　みなさん、岸田首相は施政方針演説で「敵基地攻撃能力」の検討や、「スピード感」をもった軍事力の抜本的強化を掲げました。そもそも敵基地攻撃とは、単にミサイル基地に一発撃ち込むことで終わる軍事作戦ではありません。相手国もミサイル等でさらに日本に反撃を試みるわけで、それをできないように徹底的にたたくというのが敵基地攻撃のリアルな実態です。したがって、その能力を保有するということは、相手国を軍事的にせん滅する打撃力をもたないといけないのです。そのことを昨年十一月に安倍元首相が公言し、岸田首相も予算委員会で自身の考えとは違うと安倍氏の発言を否定しませんでした。敵基地攻撃能力の「保有」の議論は、「戦争放棄」をうたった憲法９条とは絶対に相容れません。日本共産党は、改憲案の発議をおこなう憲法審査会の推進など、９条改憲の動きに断固反対していきます。ただいま取り組んでいる憲法９条を守る署名活動にご協力を何卒よろしくお願いいたします。

　最後になりますが、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）